

居ながら施工と一時移転のメリット・デメリット

	居ながら施工	一時移転
メリット	<p>① 生徒の負担軽減 環境の変化が少ないため、生徒への心理的負担を軽減することができる。</p> <p>② 検討期間の確保 統合に向けた課題を解決するために必要な検討期間を十分に確保することができる。</p> <p>③ 通学路対策 統合までの期間を確保することによって通学路対策に必要な期間を確保することができる。</p> <p>④ 引越し費用 学校統合に伴う引越し費用が1回分で済む。</p> <p>⑤ 学校運営 統合までの期間を確保することで、学校運営上の検討や学校運営に必要なプログラムを練る時間を十分に取ることができる。</p>	<p>① 学校統合時期 統合に必要な計画策定と教室数の確保ができれば、統合時期を早められるため、現在、西武中学校が抱えている生徒の減少による課題を早期に解決できる。</p> <p>② 工事期間中の安全確保・学習環境 建替工事期間中は、校内に人が不在になるため、安全性が確保される。また、学習環境に影響がない。</p> <p>③ 工期・コスト 工期の短縮及び建設コストの削減を図ることができる。</p> <p>④ 計画性・施工性 更地の状態で計画できるため、設計に自由度がある。また、工事エリアを広く確保できるため、施工者の安全面にもメリットがある。</p>
デメリット	<p>① 学校統合時期 校舎建替が完了してからの統合になるため、現在計画しているスケジュールよりも早めることは困難である。</p> <p>② 工事期間中の安全確保 学校周辺の道幅が狭く、工事車両が校内に出入りできる経路も限られている。</p> <p>③ 工期・コスト 設備機能移転や安全対策等が必要なため、工期が必要になると共に建設コストが高くなる。</p> <p>④ 計画性・施工性 既存校舎があるため、計画に制約がある。また、十分な施工エリアを確保することが難しく、施工性が悪い。</p>	<p>① 生徒の負担軽減 環境の変化に伴うため、生徒への心理的負担を軽減するための検討と対応が必要である。</p> <p>② 検討期間の確保 統合に向けた検討期間が短いため、早期に課題解決に取り組み、統合計画の策定を前倒しして進める必要がある。</p> <p>③ 通学路対策 統合までの期間が短いため、通学路に関する検討や対策を講じる期間が短くなる。</p> <p>④ コスト 教室数確保のため、教室の改修等の費用がかかる可能性がある。</p>